

<p><b>(関連分野)</b> 観光振興・地場産業</p>
<p><b>(事業の名称)</b> 鉄道員（ぽっぽや）育成</p>
<p><b>(関係省庁名)</b> 国土交通省</p>
<p><b>事業の概要</b> <b>(事業内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方中小鉄道では、高齢化や周辺企業との賃金競争により、輸送の維持に必要な人員の不足に悩む事例が見受けられる。</li> <li>・特に運転士については、免許取得に約1年間の教習が必要であるところ、地方中小鉄道事業者の体力が弱まっている現状においては、当該期間における費用負担が儘ならず高齢化した運転士の再雇用により何とか輸送を継続している状況が見受けられ、今後の輸送の維持に困難を来すおそれが生じている。</li> <li>・このため、新たに若年の運転士を育成することで、地域の足となる鉄道路線における将来的な輸送の維持を図る取組に対し、支援を行う。</li> <li>・併せて、アテンダント等を育成し、乗降介助や駅周辺施設案内等を行うことにより、これらに対応した施設整備を行なう資力のない地方中小鉄道事業者において高齢化対応や観光客対応を充実させる取組に対しても支援を行う。</li> </ul> <p><b>(支援に係る関係者の役割)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道事業者：実施主体、運転士・アテンダントの育成など。</li> <li>・都道府県：都道府県基金からの助成。</li> </ul>
<p><b>(事業展開に必要となる事項・規制緩和など)</b> 制度改正：特に必要なし</p>
<p><b>(期待される効果)</b> <b>定性的効果：</b></p> <p>地域の足の維持：高齢化による地域モビリティの喪失を未然に防ぐとともに、将来の地域活力の維持に資する。</p> <p>利用者利便向上：高齢者の乗降支援などフレキシブルできめ細かいサービスにより、当該地域における住民や観光客等の利便性を向上させることができる。</p>
<p><b>(先行事例)</b></p> <p>えちぜん鉄道では、車掌業務は行わず、乗車券の回収や高齢者の乗降サポート、観光客への案内等を行うアテンダントを乗務させることによるサービスの高質化を図っており、乗客の利便性向上が図られたのみならず、当該路線の知名度アップに繋がっている。</p>
<p><b>(期間後の取扱い)</b></p> <p>平成24年度以降については、育成された鉄道員によるノウハウの継承が期待される。</p>
<p><b>(関係省庁担当者連絡先)</b></p> <p>国土交通省鉄道局財務課 課長補佐 鈴木 / 係長 宮川 電話番号：03-5253-8538 / ファックス：03-5253-1635</p>